



SDGsの考え方と倫理的な消費とは？



蓮井誠一郎

(はすい せいいちろう)

茨城大学 人文社会科学部 教授

(国際政治学・平和学・環境政治)

地球・地域環境共創機構(GLEC)副機構長(教育構想・SDGs)



今回の内容



1. 「SDGs」って何？ どうして必要なの？
2. 「つくる責任、つかう責任」は何を意味する？
3. 「エシカル消費」って何？
4. どうしてエシカル消費が必要なの？

➤「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」として、国連総会で2015年に全会一致で採択された国際目標

➤採択文書のタイトルは『**我々の世界を変革する**: 持続可能な開発のための2030アジェンダ』で、国連加盟国の強い決意がうかがえる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



開発の「やり過ぎ」「間違い」を防ぐには「目標」と「計画」が重要

- **目標** (ゴール(goal)) がないと、限界をこえて開発をやり過ぎてしまつて公害になる
- **計画** がないと、目標にたどり着けなかったり、間違つた方向に行つたりして「開発の失敗」になる
- 開発の目標といつまでにそれを達成すればいいかという計画を決めてから取りかかるべき
 - その最初が**MDGs**(ミレニアム開発目標: 2000~2015年)
 - その次が**SDGs**(持続可能な開発目標: 2016~2030年) ←いまココ



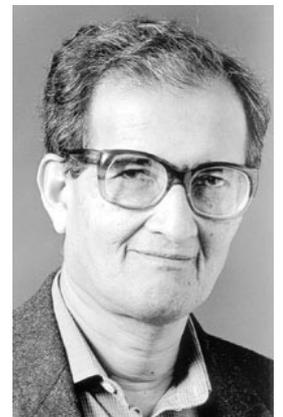
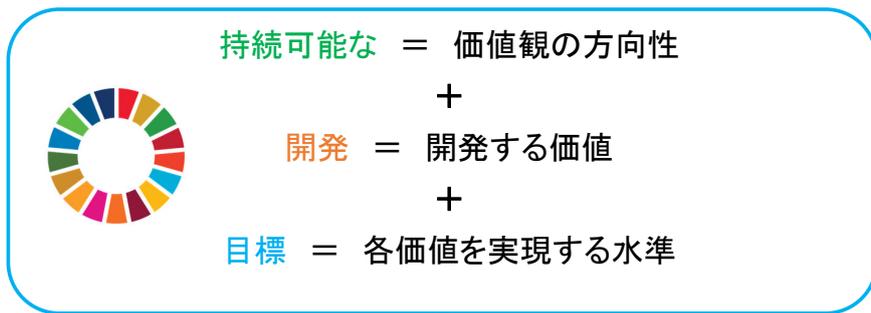
SDGsを貫く5つの価値

- 人間(People) が大切(目標1~6)だが、
↓ 人間の尊厳を守るには...
- 地球(Planet) が必要(目標12~15)で、
↓ 地球を守ってこそ...
- 繁栄(Prosperity) が実現(目標7~11)
↓ するが、争ってはだめで...
- 平和(Peace) が条件になる(目標16)のだが、
↓ 単独では平和は実現・維持されないから...
- パートナーシップ(Partnership)で(目標17)平和を達成して守ろう!



(出典:国際連合広報局)

SDGsは目標というより、価値観の集合



“開発は個人の自由の拡大を目的とする”
(アマルティア・セン(ノーベル経済学賞))

地域に暮らす人びとが自由を拡大するための政治の支援と地域社会や個人の努力について
世界共通のあり方を示したのがSDGs

「地球の未来の骨格」(蟹江 2020) ⇒ “Beyond SDGs”への議論始まる!

• 「目標」は世界で変えるべき対象

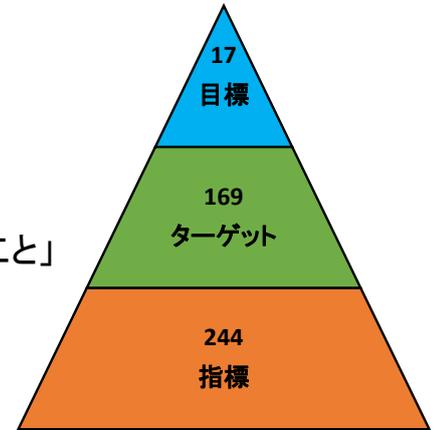
- 達成できなくても罰はない(!?) ←ではなぜやるの？
- 達成すると大きな利益があるから努力できる
- 「大きな利益」とは、人類が地球上で生き続けられること

• 「ターゲット」は目標に近づいたかどうか知る方法

- それぞれの目標を達成するためには「いつまでに～ができていること」という達成基準が必要
- 17個の目標に全部で「**169個**」ある

• 「指標」はどれだけできたか測る基準

- 誰が見ても変わらない数字で表された指標なので、どこまで達成できたかどうか、ごまかしもきかず、意見の対立も出にくい
- 全部で「**244個**」(同じものが別のターゲットにも入っているので232種類)



• 世代を超えて

- 持続可能な開発の定義(将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たすこと)に基づく

• すべての人が “Leaving no one behind!”

- 「誰一人取り残さない」という最も重要なSDGsのスローガン

• 自分らしく自由に

- 国連が目指してきた「貧困の対義語は自由」を実現

• よく生きられる(well-being)世界

- **ウェルビーイング**は、SDGs後の世界の主要な価値観のひとつ、と考えられている

SDG Dashboard and Trends



緑達成！黄色はまだ挑戦しなきゃ
オレンジはすぐがんばれ！
赤いせんぜん足りない！

- ✓ **日本の強み:** 健康と福祉(目標3)が初めて達成！教育(目標4)、産業とインフラ(目標9)、平和と公正(目標16)はこれまで達成の緑アイコンが続いていた強み
- ✓ **日本の弱み:** ジェンダー平等(目標5)、作る責任・使う責任(目標12)、気候変動(目標13)、海の豊かさ(目標14)、陸の豊かさ(目標15)、パートナーシップ(目標17)が足りない！ 飢餓撲滅(目標2)が2025年は悪化

出典:Sustainable Development Report 2025 (<https://dashboards.sdindex.org/>)

SDGs12「つくる責任つかう責任」

12 つくる責任
つかう責任



- 12.01 「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み」を実行しよう
- 12.02 限りある天然資源を、できるだけ使わずに済むようにしよう
- 12.03 一人あたりの食品廃棄を半分に減らそう
- 12.04 化学物質や有害廃棄物の放出を大幅に減らそう
- 12.05 廃棄物の発生を、3Rで大幅に減らそう
- 12.06 大企業は率先して、サステナブルな取り組みと発信を
- 12.07 まずは国から、みんなのお手本となる買い物の仕方を
- 12.08 持続可能なライフスタイルがどんなものか、みんな理解しよう
- 12.a これらの取り組みを開発途上国が実践できるように支援しよう
- 12.b 観光業の地域への貢献度を、見える化する手法を開発しよう
- 12.c 無駄な消費につながる、非効率な補助金はなくしていこう

私たちの生産と消費に倫理を組み込もう！

倫理がない消費は何をもたらすか？

• 人びとへの影響

- 日本と世界で働く人びとの人権や労働環境の悪化



• 社会への影響

- 格差の拡大、対立からくる社会不安の増大



• 環境への影響

- 日本と世界の環境破壊、資源枯渇



エシカル消費とはどんな消費行動か？

個人が価格(安いから...)や利便性(便利だから...)だけでなく、

環境、人権、社会的公正、動物福祉などのエシカルな基準(=倫理的な基準)に基づいて、

商品やサービスを選択し、購入し、消費する行動のこと。

• エシカル消費

- 法律に定められていなくても、**社会の規範**として求められる価値や行動、責任を実現する消費行動



• 変化の起点としてのエシカル消費

- 消費が変われば社会も世界もSDGsの価値観に沿って変わっていく
- フェアトレードだけでなく、右側にある多くの認証制度も私たちの判断を助けてくれる



茨城県リサイクル認定製品